



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <https://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）大隅 毅

問合せ先責任者 （役職名）上級執行役員財務部長 （氏名）池田 覚 TEL 03-5646-7235

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	20,022	2.8	1,011	△19.9	1,445	△14.5	1,817	11.5
2025年3月期第1四半期	19,470	5.9	1,263	32.6	1,690	29.3	1,629	90.5

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 1,131百万円（△49.7％） 2025年3月期第1四半期 2,250百万円（33.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	126.28	—
2025年3月期第1四半期	109.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	117,622	65,298	54.7	4,469.82
2025年3月期	117,446	65,328	54.8	4,472.42

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 64,337百万円 2025年3月期 64,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 （予想）	—	90.00	—	22.50	—

（注）1. 公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2025年8月7日の取締役会において、2025年9月30日を基準日（2025年10月1日を効力発生日）として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。

2026年3月期（予想）1株あたりの期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しています。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり年間配当金予想は、期末：90円、合計：180円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	40,000	1.0	2,200	△17.9	2,700	△13.8	2,700	2.0	187.58
通期	79,000	0.5	4,200	△10.0	5,100	△8.7	5,100	3.9	88.58

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年8月7日の取締役会において、2025年9月30日を基準日（2025年10月1日を効力発生日）として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。

通期連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は354円32銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 、除外 一社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	15,217,747株	2025年3月期	15,217,747株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	823,888株	2025年3月期	823,888株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	14,393,859株	2025年3月期1Q	14,823,888株

（注）当社は、取締役（社外取締役を除く）に対し、信託を用いた株式報酬制度「株式交付信託」および一定の要件を満たした従業員に対し、「株式給付信託（J-ESOP）」の制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2026年3月期1Q 80,500株、2025年3月期1Q 50,500株）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.4「1. 経営成績等の概況 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 全般の概況

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	増減率
営業収益	19,470	20,022	551	2.8%
営業利益	1,263	1,011	△251	△19.9%
経常利益	1,690	1,445	△245	△14.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,629	1,817	187	11.5%

経済環境

- ・当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、各種政策による下支えもあり、緩やかな回復基調で推移しました。個人消費は、物価上昇により一部に足踏みが見られたものの、インバウンド需要の継続的な拡大を中心としたサービス消費の回復が進み、持ち直しの動きが続きました。企業の設備投資は、更新需要に加え、労働力不足を背景とした省人化・自動化、およびDX推進のためのIT関連投資が進展し、総じて堅調に推移しました。一方で、物価上昇の長期化とこれに伴う金融資本市場の変動、米国の通商政策や地政学的リスクなど、海外経済を巡る不確実性は依然として高い状況が続いており、景気の下振れリスクには引き続き注視が必要な状況です。

業績の状況

- ・陸上運送業務が好調に推移したことを主要因として、営業収益は前年同期比5億5千1百万円(2.8%)増の200億2千2百万円となりました。一方で人件費や作業費、新設拠点にかかる減価償却費の増加により、営業利益は同2億5千1百万円(19.9%)減の10億1千1百万円、経常利益は同2億4千5百万円(14.5%)減の14億4千5百万円と、前年同期比増収減益となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は政策保有株式の売却益の増加により、前年同期比1億8千7百万円(11.5%)増の18億1千7百万円となりました。

② セグメント別の概況

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

(物流事業)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	増減率
営業収益	18,013	18,604	590	3.3%
営業利益	988	878	△109	△11.1%

事業環境

- ・国内経済の緩やかな回復基調に支えられ、荷動きは一定の需要を維持した一方で、トラックドライバーの時間外労働規制強化に伴う輸送能力の低下や物流拠点における作業員不足など、サプライチェーンの変更やコスト上昇の圧力が強まる傾向が見られました。
- ・輸出貨物の荷動きは米国による追加関税発動の具体的な影響に加え、中国経済の減速傾向が継続したことにより、全体として低調に推移しました。一方、輸入貨物は、円安圧力の緩和による購買力の回復期待が、堅調な増加基調を維持する要因となりました。

業績の状況

- ・倉庫業務は、前期に取扱いを開始した新規業務が寄与したものの、一部拠点における顧客自営化や拠点集約に伴う業務の撤退等の影響により、全体の取扱いは減少しました。営業原価では、新設拠点の稼働に伴う賃借料や減価償却費が増加しました。
- ・陸上運送業務は、飲料や食品関連の取扱いが好調に推移したほか、前期より新たに取扱いを開始した化粧品EC関連が寄与しました。また、コスト上昇に対しては、適正な運賃の確保を図ることで、収益性の維持に努めました。
- ・港湾運送業務は、船内荷役業務および自動車部品を中心とした荷捌業務の取扱い増により、堅調に推移しました。
- ・国際輸送業務は、輸入航空貨物や自動車部品を主体としたアジア向けの輸出海上貨物の取扱いが好調に推移しました。
- ・中期経営計画「澁澤倉庫グループ中期経営計画2026」2年目となる本年は、重点施策として掲げる5つの事業戦略に基づき、拠点整備や自動化機器の導入など競争力強化に向けた基盤構築を進めるとともに、これらの成果を新規業務の獲得や収益拡大へとつなげるべく取り組みました。

業務別営業収益内訳

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	増減率
倉庫業務	4,959	4,934	△25	△0.5%
港湾運送業務	1,626	1,665	38	2.4%
陸上運送業務	8,652	9,107	454	5.3%
国際輸送業務	1,929	2,098	169	8.8%
その他の物流業務	846	798	△48	△5.7%

（不動産事業）

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	増減率
営業収益	1,512	1,469	△43	△2.9%
営業利益	793	743	△50	△6.3%

事業環境

- ・都市部におけるオフィスビル市場は、平均空室率が引き続き低下傾向を示すなど、需要は底堅さを維持しております。一方で、金利上昇懸念や建築費の高止まりは、新規開発やリノベーションにおけるコスト増加要因として、投資判断に慎重な見方をもたらす局面も見られました。

業績の状況

- ・前期に好調であったビル工事請負業務の反動減に加え、一部施設の賃料改定により不動産賃貸収入が減少しました。
- ・既存施設においては、計画的な保守・補修工事および機能向上を目的とした改良を継続的に実施することで、現有資産の付加価値向上をはかるとともに、不動産ポートフォリオの拡充と収益基盤の多様化に取り組みました。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び取引先未収金および立替金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億7千6百万円増加し、1,176億2千2百万円となりました。

負債については、借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加し、523億2千4百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等があったものの、配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ3千万円減少し、652億9千8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.1ポイント減少し、54.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローの増加があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、全体で2億6百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、83億1千5百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保があったものの、法人税等の支払い等により、4億7千6百万円の減少（前年同四半期比8億7千万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等があったため、7億3千万円の増加（前年同四半期比8千9百万円の増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加があったものの、長期借入金の約定返済および配当金の支払いにより、4億2千万円の減少（前年同四半期比10億5千6百万円の増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、2025年5月12日に公表した第2四半期（中間期）累計期間および通期の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,832	11,448
受取手形及び取引先未収金	13,854	14,137
その他	3,201	4,032
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	28,884	29,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,085	31,659
土地	22,963	22,963
その他（純額）	2,435	2,337
有形固定資産合計	57,484	56,960
無形固定資産	1,199	1,280
投資その他の資産		
投資有価証券	27,822	27,505
その他	2,039	2,249
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	29,830	29,723
固定資産合計	88,514	87,963
繰延資産	47	44
資産合計	117,446	117,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,972	5,781
短期借入金	4,545	10,529
1年内償還予定の社債	28	28
未払法人税等	1,499	841
引当金	814	405
その他	3,376	3,758
流動負債合計	16,235	21,344
固定負債		
社債	8,046	8,046
長期借入金	17,395	12,171
長期預り金	5,327	5,328
退職給付に係る負債	1,551	2,065
その他	3,562	3,368
固定負債合計	35,881	30,979
負債合計	52,117	52,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	6,449	6,449
利益剰余金	42,407	43,067
自己株式	△2,493	△2,493
株主資本合計	54,211	54,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,591	8,475
為替換算調整勘定	1,094	745
退職給付に係る調整累計額	477	245
その他の包括利益累計額合計	10,164	9,467
非支配株主持分	953	960
純資産合計	65,328	65,298
負債純資産合計	117,446	117,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益		
倉庫保管料	2,426	2,457
倉庫荷役料	1,920	1,890
荷捌料	3,597	3,805
陸上運送料	8,650	9,104
物流施設賃貸料	646	656
不動産賃貸料	1,458	1,421
その他	769	687
営業収益合計	19,470	20,022
営業原価		
作業費	12,265	12,663
賃借料	1,136	1,210
人件費	1,063	1,105
減価償却費	635	693
その他	2,121	2,206
営業原価合計	17,222	17,878
営業総利益	2,247	2,143
販売費及び一般管理費	984	1,132
営業利益	1,263	1,011
営業外収益		
受取利息	32	32
受取配当金	383	382
持分法による投資利益	23	51
その他	27	22
営業外収益合計	466	489
営業外費用		
支払利息	27	46
その他	11	8
営業外費用合計	39	55
経常利益	1,690	1,445
特別利益		
投資有価証券売却益	756	1,222
特別利益合計	756	1,222
税金等調整前四半期純利益	2,446	2,668
法人税等	801	835
四半期純利益	1,645	1,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,629	1,817

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,645	1,832
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	285	△128
為替換算調整勘定	238	△253
退職給付に係る調整額	△0	△231
持分法適用会社に対する持分相当額	82	△86
その他の包括利益合計	605	△701
四半期包括利益	2,250	1,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,234	1,120
非支配株主に係る四半期包括利益	16	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,446	2,668
減価償却費	672	732
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	△7
受取利息及び受取配当金	△415	△415
支払利息	27	46
持分法による投資損益 (△は益)	△23	△51
投資有価証券売却損益 (△は益)	△756	△1,222
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△2
固定資産除却損	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△525	△310
仕入債務の増減額 (△は減少)	41	△172
その他	△710	△661
小計	757	605
利息及び配当金の受取額	466	389
利息の支払額	△39	△39
法人税等の支払額	△790	△1,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	393	△476
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51	△50
定期預金の払戻による収入	65	50
有形固定資産の取得による支出	△217	△485
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△48	△96
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	890	1,310
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	640	730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,038	1,719
長期借入金の返済による支出	△618	△958
自己株式の取得による支出	△2,039	—
配当金の支払額	△836	△1,158
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
リース債務の返済による支出	△16	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,476	△420
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△406	△206
現金及び現金同等物の期首残高	9,547	8,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,141	8,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益					
外部顧客への営業収益	18,011	1,458	19,470	—	19,470
セグメント間の内部営業収益又は振替高	2	53	56	△56	—
計	18,013	1,512	19,526	△56	19,470
セグメント利益	988	793	1,782	△518	1,263

(注) 1. セグメント利益の調整額△518百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益					
外部顧客への営業収益	18,600	1,421	20,022	—	20,022
セグメント間の内部営業収益又は振替高	3	47	50	△50	—
計	18,604	1,469	20,073	△50	20,022
セグメント利益	878	743	1,622	△610	1,011

(注) 1. セグメント利益の調整額△610百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象の注記）

（株式分割および株式分割に伴う定款一部変更）

当社は、2025年8月7日開催の取締役会において、株式分割および株式分割に伴う定款一部変更ならびに配当予想の修正について決議いたしました。

詳細については、本日公表の「株式分割および株式分割に伴う定款一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。